

**DENSO**

株主のみなさまへ

第90期（2012年度）中間報告書 [2012年4月1日～2012年9月30日]

株式会社デンソー  
(証券コード 6902)

# ごあいさつ



取締役社長

加藤 宣明

## 車両生産の増加により増収増益

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年度第2四半期の業績は、日本でのエコカー補助金による車両販売の増加に加え、北米・豪亜地域においても車両生産が増加し、売上高は1兆7,331億円と、前期比で増収となりました。営業利益は、円高による影響があったものの、売上増加に伴う操業度差益などにより1,363億円、経常利益は1,492億円、四半期純利益は781億円と、いずれも増益となりました。省燃費に貢献する新技術や安全分野の新製品が、様々なカーメーカーに採用されており、着実に売上に結びついています。

2012年度通期の見通しについては、日本・欧州・中国での車両生産の減少を見込み、第1四半期決算の予想に対し、下方修正することにいたしました。売上高は3兆4,100億円(前期比+8.1%)、営業利益は2,250億円(前期比+40.0%)と見込んでおります。

## 1株当たり27円の配当を実施

株主のみなさまへの利益還元は、安定配当を基本とし、中長期的には連結配当性向30%を目標にして取り組んでいます。当第2四半期末の配当金については、前年同期より4円増加の1株当たり27円とし、年間配当は54円を予定しております。今後も株主のみなさまへの利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります。

## 2020年長期方針の策定に向けて

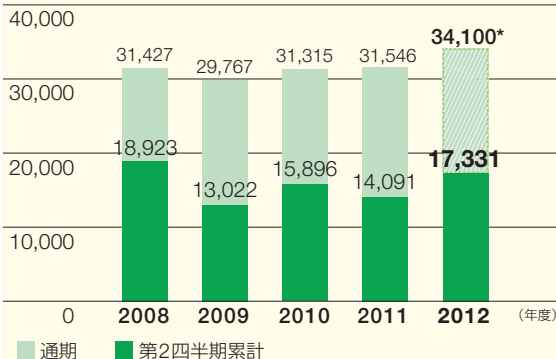
現在、2020年をターゲットとした長期方針を策定しております。「地球環境に負担をかけないクルマ社会」と「交通事故ゼロの社会」を目指した環境・安全分野で積極的に事業を展開してまいります。また、情報通信とHMI(ヒューマン・マシーンインターフェイス)技術を連携させ、お客様の期待を大きく超える商品・サービスを時代に先駆けて創り出していきたいと考えております。さらに、当社が自動車で培った技術を活かし、自動車から広がる分野で新しい商品を作り出してまいります。引き続き、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2012年11月

## ■ 連結業績ハイライト

### 売上高

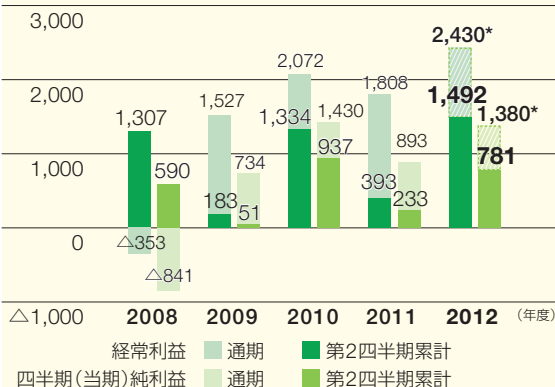
50,000 (億円)



\* 2012年度通期は見込み

### 経常利益・四半期(当期)純利益

4,000 (億円)

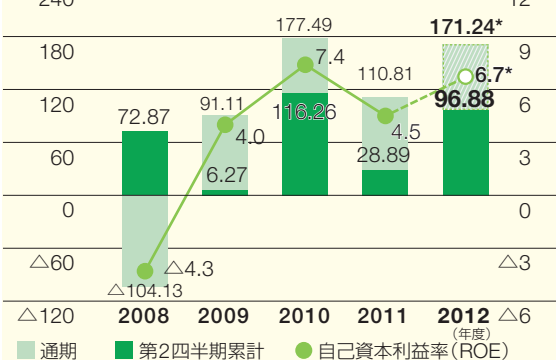


\* 2012年度通期は見込み

### 1株当たり四半期(当期)純利益 / 自己資本利益率(ROE)

300 (円)

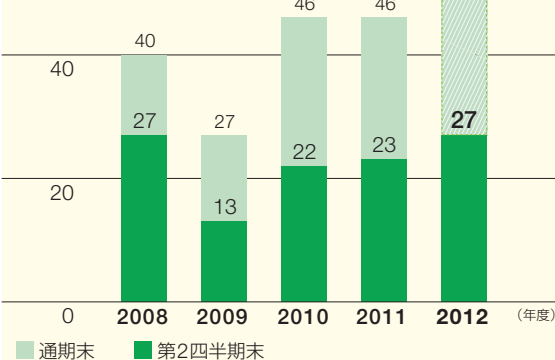
15 (%)



\* 2012年度通期は見込み

### 1株当たり配当金

60 (円)



\* 2012年度通期は見込み

## 新製品・新技術

### TOPIC 01 従来品より30%小型化した新型コンデンサーを開発

従来のコンデンサーを全面改良した新型コンデンサー、Global Inner-fin Condenser (GIC)を開発しました。コンデンサーは、エンジンルーム内でコンプレッサーから送られてくる高温・高圧のガス状冷媒を外気で冷却し、液化するための熱交換器です。当製品はエンジンルーム内の設計自由度向上のため、コンデンサー自体の小型化ニーズの高まりに応えたものです。また、製品の材料は、世界各地での調達のしやすさ、環境規制強

化への適応性も考慮しています。このGICは、5月にトヨタ自動車(株)から発売されたカローラに搭載されており、今後も幅広い車種への展開を図っていきます。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120515-01.html>



コンデンサーの外観

従来品(幅16mm)、GIC(幅11mm)

### TOPIC 02 小型ハイブリッドトラック用冷凍機システムを開発

このシステムは、ベルトを介してエンジンの動力で駆動する従来のコンプレッサーに加え、ハイブリッド車用バッテリーに蓄えられた電気で駆動する電動コンプレッサーを新たに搭載しています。走行時は従来のコンプレッサーが駆動し、信号待ちなどの車両停止時には電動コンプレッサーが駆動することにより、冷凍・冷蔵室内の温度を維持しつつ、車両をアイドルストップさせることができるようになり、従来の冷凍機システムに比べ、車両の燃費を大幅に向上させることが可能になり

ました。また、外部電源使用時はあらかじめ冷凍機システムに搭載されている電動コンプレッサーを使用するため、モーターやコンプレッサーが不要となり、ユニットの大幅な小型・軽量化を実現し、冷凍機システム全体で従来比約25%軽量化\*することができました。将来的にはEVトラックへの対応も目指していきます。この冷凍機システムは、(株)デンソーセールスを通じて発表しています。

\*当社製の従来製品との比較によるもの

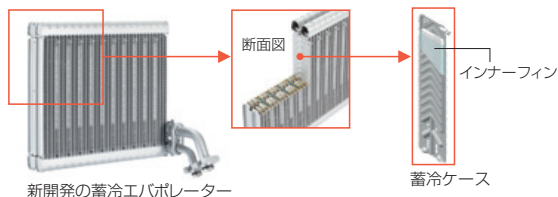
<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120705-01.html>

### TOPIC 03 新型エバポレーターを開発

アイドルストップの際にエンジンが停止した状態でも車室内の温度上昇の抑制を可能とする蓄冷エバポレーターを開発しました。エバポレーターとは、エンジンの動力で作動するエアコンサイクルの構成部品で、冷たい冷媒が暖かい空気と熱交換を行い、車室内への冷気の供給、除湿などを行っています。この新型エバポレーターは、熱交換部分に蓄冷材を備えており、エアコン作動時に蓄冷しておくことで、アイドルストップによるエン

ジン停止時にも車室内に冷気を供給し、車室内の温度上昇を抑制することができます。この製品は、9月にスズキ(株)から発売されたワゴンRに搭載されています。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120907-01.html>



新開発の蓄冷エバポレーター

蓄冷ケース

TOPIC 04 新型画像センサーを開発

従来品に対して体積を50%小型化した新型画像センサーを開発しました。今回開発した画像センサーは、従来の車線逸脱警報システム(LDW)<sup>\*1</sup>に加え、自動ハイビーム制御システム(AHB)<sup>\*2</sup>に必要なセンサー機能もあわせて持ち、同等の機能を持つ画像センサーとしては世界最小<sup>\*3</sup>です。また、作動温度の上限を従来より引き上げることに成功し、世界で最も広い温度範囲<sup>\*3</sup>で作動する画像センサーとなっています。これにより、夏場や気温が高い地域などにおいても安全システムの円滑な作動を実現します。

加えて、画像センサーに搭載されているカメラを白黒からフルカラー化することで、LDWとしては世界各国の様々な色の道路標示に対応でき、AHBとしては、先行車の尾灯とその他の光源の識別が容易になりました。当製品は、2012年7月から中国を皮切りに、北米、ロシア、中近東などで順次発売されるレクサスESのメーカー

オプションとして設定されており、今後も幅広い車種への展開を図っていきます。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120725-01.html>



新型画像センサー

- ※1. 車両が車線から外れた時に、ドライバーに警報することで、車線逸脱による事故の低減に寄与するシステム
- ※2. 先行車・対向車に応じて、自動的にハイビームに切り替えることで、夜間のドライバーの視認性向上、および他車両への眩惑防止を補助するシステム
- ※3. 2012年7月現在、当社調べ

TOPIC 05 世界最大サイズ<sup>\*</sup>で常時2画面表示が可能なワイドディスプレイを開発

今回開発した高精細ワイドディスプレイは、これまでの8インチのディスプレイを横方向に大型化した12.3インチの大画面です。横長を活かしたワイド画面表示はもちろん、8インチと4.3インチの2画面表示も可能で、地図画面を見ながらオーディオ操作ができるなど、

あらゆる情報を組み合わせて表示できます。これは、トヨタ自動車(株)から発売されているレクサスGS、レクサスLSにも搭載されています。

<sup>\*</sup>量産用の車載センターディスプレイとして世界最大サイズ(2012年7月現在)

12.3インチ高精細ワイドディスプレイの画面



メニューと着信割り込み画面



ナイトビューと地図画面

## 事業拡張

### TOPIC 06 中国地場メーカーの事業を統合

中国の当社拠点の一つとして、二輪用部品の製造・販売を担う重慶電装有限公司と、中国の二輪部品メーカーである昆山鞏誠(コンザン・キョウセイ)電器有限公司の事業を統合し、合併会社として、鞏誠電装(重慶)有限公司を設立しました。2011年の全世界ガソリン二輪車販売において、中国は世界最大の市場規模となっています。今回の統合により、中国二輪市場での競争力強化を図っていきます。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120704-01.html>

#### 合併会社の概要

1. 社名	鞏誠電装(重慶)有限公司	
2. 設立年月	2012年3月	
3. 資本金	28.5億円	
4. 出資比率	デンソーグループ	51%
	昆山鞏誠グループ	49%
5. 従業員数	690人(2012年6月時点)	
6. 事業内容	キャブレタ式二輪車向け製品、およびF1式二輪車向け製品の設計・製造・販売	

### TOPIC 07 富士通セミコンダクター岩手工場の譲渡に関する基本契約を締結

富士通セミコンダクター(株)と、富士通セミコンダクター岩手工場の譲渡に関する基本契約を締結しました。今後、資産譲渡契約などの契約を締結し、2012年10月1日から当社の100%子会社として半導体の前工程製造(システムLSI、マイコンなど)を担います。昨今の自動車の省燃費技術の発達やCO<sub>2</sub>排出量削減に関す

る技術の高度化、先進安全技術に関する新しいシステムなど、自動車向け半導体部品のニーズはますます多様化し、生産量も拡大傾向にあります。これらに対応するため、新たに3カ所目の生産拠点を確保することが必要となり、今回の契約締結に至りました。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120427-01.html>

### TOPIC 08 インドネシアに新工場を建設

インドネシアにおける自動車生産の拡大に対応するため、インドネシア西ジャワ州プカシ県に新工場を建設します。新工場は2014年2月の稼働開始を予定しており、エンジン制御ECU、VCT(Variable Cam Timing/可変カムタイミング)などのエンジン制御関連製品、スターター、オルタネーターを生産する予定です。当社は、1975年にデンソー・インドネシア社を設立し、約40年近くインドネシアで事業を行っています。現在、カーエアコン、ラジエーター、スパークプラグ、フィルターなどを2工場で製造しており、新工場は、3番目の工場になります。

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2012/120911-01.html>

1. 名称	デンソー・インドネシア社ファジャール工場(仮称) PT. DENSO INDONESIA Fajar plant
2. 所在地	インドネシア西ジャワ州プカシ県
3. 投資額	約1兆400億ルピア(約94億円)
4. 従業員数	約1,300人(2016年3月計画)
5. 敷地面積	200,000m <sup>2</sup>
6. 業務内容	エンジン制御ECU、VCT、スターター、オルタネーターの製造



# 製品クローズアップ

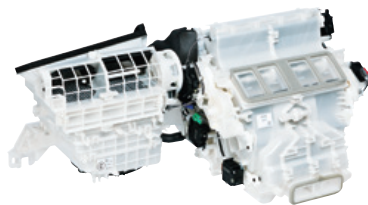
世界初!

## ドライバー席のみの自動空調が可能なカーエアコンシステムを開発

車室内をドライバーと助手席、後部座席の3つのゾーンに分け、乗員がドライバーだけの場合にはドライバー席のみの空調ができるカーエアコンシステムを世界で初めて開発しました。ドライバー席のみを空調する場合は、従来のカーエアコンに比べ、使用するエネルギーを通年で約2割削減\*することが可能となります。

さらに、暖房時において低湿度な外気の導入と暖かい内気の循環をコントロールし、窓の曇りを防ぎながら、熱の排出量を半減させることより、快適性の向上と省エネを高次元で両立させました。

\*当社で実施した実車テストに基づく数値



カーエアコンシステムの構成部品  
「エアコンユニット」

### カーエアコンシステムとは?

エアコンユニット、コンプレッサー、コンデンサー、各種センサーで構成され、センサーによって社内外や乗員の状況を把握し、各構成品の連携により最適な空調を行います。

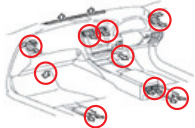
### 特長1

#### 新たなエアコンユニット構造

通常のエアコンユニットは車内を1つの空間としていましたが、新製品は5つに分割し、スライドドアなどの新技術によって風の温度や量を個別に高精度にコントロールできます。

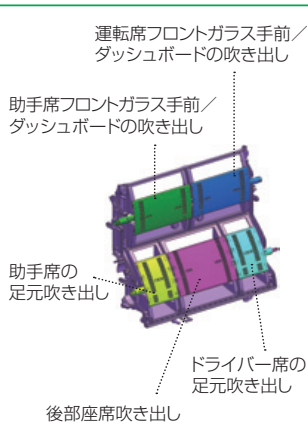
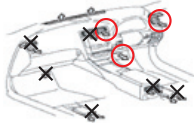
#### ■従来

車室内全体を空調



#### ■新製品

ドライバーのみの乗車時は、主に1席集中空調



### 特長2

#### 暖房の熱排出量を約半分に削減

エアコンユニット内の上部(窓側)は外気、下部は温風内気循環の2層構造にして、排出する車内の温風の量を約半分に削減しました。

#### ■従来

上部と足元にも外気が入り込み、暖かい空気を多く排出。



#### ■新製品

上部に外気を流し、下部は暖かい内気を循環させるので、熱排出量が半減。



### 開発エピソード 冷暖房技術1部 若林晃次さん



今回は、一人で運転する時間が約80%という調査結果から生まれたアイデアです。今までのカーエアコンは車室内全てを快適にするという考え方でしたが、必要な範囲だけを空調することで快適・省エネを両立できないかというのが開発の出発点でした。トヨタ自動車さんと共同での実車適合や解析シミュレーションを駆使し、あらゆるシーンを想定して快適性と燃費向上のベストバランスを見極めました。現在、レクサスGSの一部モデルに搭載されています。今後、グローバルスタンダードになることを期待しています。

# セグメント情報

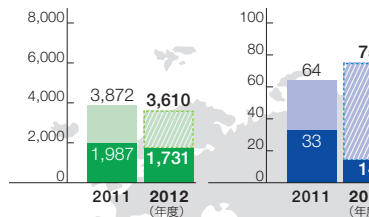
## 地域別(当社グループの所在地別)売上高・営業利益

(単位: 億円)

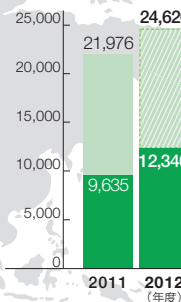
\* 2012年度通期は見込み

売上高 通期 上半期 営業利益 通期 上半期

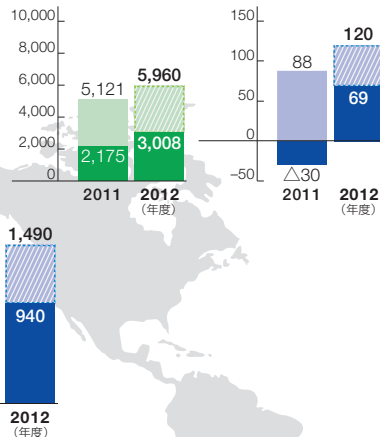
### 欧州



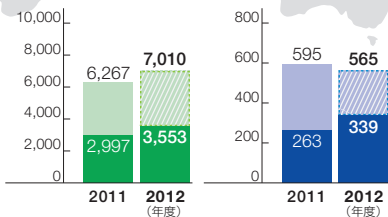
### 日本



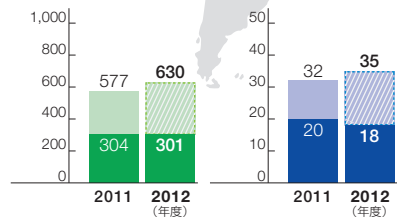
### 北米



### 豪亜



### その他\*



\*ブラジル、アルゼンチンなど

## ■ 日本

東日本大震災からの回復やエコカー補助金による車両生産増加により、増収増益になりました。

## ■ 北米

GM、フォード、クライスラーや日系カーメーカー向けの売上が増加したことにより増収増益になりました。

## ■ 欧州

欧州債務問題による市場低迷により、減収減益になりました。

## ■ 豪亜

日系カーメーカーの車両生産回復に伴う売上増加により、増収増益になりました。

## 主な得意先

国内	トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、ダイハツ工業(株)、スズキ(株)、富士重工業(株)、マツダ(株)、日野自動車(株)、いすゞ自動車(株)、三菱自動車工業(株) 他
海外	GM、現代・起亜、フィアット、フォード、クライスラー、アウディ・フォルクスワーゲン 他



# 製品別売上高

## 生活関連機器



自然冷媒 (CO<sub>2</sub>)  
ヒートポンプ式給湯機

## 産業機器

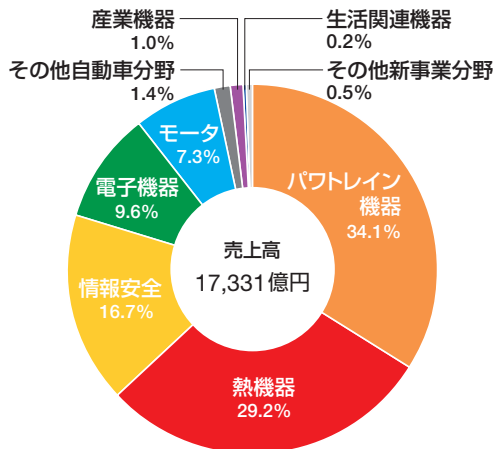


産業用  
ロボット

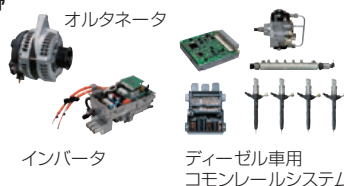
## モータ



ワイヤシステム



## パワトレイン機器



オルタネータ

インバータ

ディーゼル車用  
コモンレールシステム

## 熱機器



エアコンユニット

## 情報安全



コンビネーション  
メータ

カーナビゲーション  
システム

※2012年1月に、従来の5事業グループから4事業グループに再編いたしました。それに伴い、電気機器事業グループ内の電機事業部、EHV機器事業部をパワトレイン機器事業グループへ、電気制御機器部を情報安全事業グループに編入いたしました。

## 主要製品

【エンジン機器】点火コイル、マグネット、点火プラグ、グロープラグ、排気センサ、モノリス、DPF、二輪車用エンジン制御コンピュータ、排気温センサ  
【機能品】各種バルブ(EGR/バルブ、A/Tコントロールバルブ、A/Tトルノイドバルブ、オイルコントロールバルブ、パーシバルブ 他)、ノックセンサ、可変カムタイミング、スロットルポデー、エアフロメータ、オイルフィルタ、エアクリーナ、吸気モジュール、シフトバイワイヤアクチュエータ、ホーン、アクセルペダルモジュール、エバポリークチェックモジュール 【ディーゼル噴射】コモンレールシステム、列型・分配型ポンプ、ノズル、フューエルフィルタ  
【ガソリン噴射】フューエルポンプ、フューエルポンプモジュール、インジェクタ、直噴用部品(インジェクタ、ポンプ)  
【電機】スタータ、オルタネータ 【EHV】インバータ、DC-DCコンバータ、電池監視ユニット

【熱機器】カーエアコンシステム、ラジエータ、冷却ファン、インタークーラ、オイルクーラ、エンジンクーリングモジュール、リザーブタンク  
【空調冷熱】バス・農建機用エアコン、トラック用冷凍機、空気清浄器

【情報通信】コンビネーションメータ、エアコンパネル、スマートキー、キーレスエントリー、ワイヤレスドアロックコントローラ、バック&コーナソナー、セキュリティシステム、ポデーコンピュータ、タイヤ・プレッシャ・モニタリング・システム、リモートタッチコントローラ、カーナビゲーションシステム、ETC車載器、データ通信モジュール、車両運行管理システム  
【走行安全】エアバッグ用各種センサ&コンピュータ、ABS/ESC用アクチュエータ&コンピュータ、プリクラッシュ・車間制御用ミリ波レーダ&コンピュータ、車間制御用レーザーレーダ&コンピュータ、レーンキープアシスト用画像センサ&コンピュータ、ヘッドランプコントロールシステム用コンピュータ  
【電気制御】電動パワーステアリング用センサ&コンピュータ、電動可変バルブタイミング用ドライブユニット

【電子】エンジン制御コンピュータ、トランスミッション制御コンピュータ、パワーマネジメントコンピュータ  
【デバイス】各種半導体センサ、IC、パワーモジュール 【リレー】

ワイヤシステム、ウォッシュシステム、パワーウィンドモータ、パワーシートモータ、スライドドア用モータ、パワーステアリングモータ、エンジン制御用モータ、他各種モータ

【自動認識関連製品】バーコードハンディスキャナ&ハンディターミナル、QRコードスキャナ&ハンディターミナル、ICカードリーダ&ライタ、RFIDリーダ&ライタ 【FA関連製品】各種ロボット、プログラマブルコントローラ 【冷却・空調関係製品】機器用冷却器(携帯電話基地局用など)、スポットクーラ&ヒータ

自然冷媒(CO<sub>2</sub>)ヒートポンプ式給湯機、自動水栓、住宅用空調

# 四半期連結財務諸表

## ■ 連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	2012年度 第2四半期末	2011年度末	科目	2012年度 第2四半期末	2011年度末
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>2,075,689</b>	<b>2,120,108</b>	<b>流動負債</b>	<b>763,894</b>	<b>813,342</b>
現金及び預金	646,869	599,955	支払手形及び買掛金	419,612	457,782
受取手形及び売掛金	505,005	585,137	短期借入金	39,529	9,756
有価証券	389,118	422,187	その他の流動負債	304,753	345,804
たな卸資産	319,629	324,513	<b>固定負債</b>	<b>644,375</b>	<b>677,154</b>
その他の流動資産	215,068	188,316	社債	190,000	190,000
			長期借入金	241,359	273,344
			その他の固定負債	213,016	213,810
			<b>負債合計</b>	<b>1,408,269</b>	<b>1,490,496</b>
<b>固定資産</b>	<b>1,435,875</b>	<b>1,487,589</b>	<b>純資産の部</b>		
<b>有形固定資産</b>	<b>800,246</b>	<b>800,888</b>	<b>株主資本</b>	<b>2,107,543</b>	<b>2,048,011</b>
機械装置及び運搬具(純額)	301,054	311,581	資本金	187,457	187,457
その他の有形固定資産(純額)	499,192	489,307	資本剰余金	266,624	266,624
<b>無形固定資産</b>	<b>15,205</b>	<b>15,528</b>	利益剰余金	1,851,966	1,792,428
投資その他の資産	620,424	671,173	自己株式	△198,504	△198,498
<b>資産合計</b>	<b>3,511,564</b>	<b>3,607,697</b>	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△108,611</b>	<b>△38,967</b>
			その他有価証券評価差額金	108,974	146,458
			繰延ヘッジ損益	119	△297
			為替換算調整勘定	△217,704	△185,128
			<b>新株予約権</b>	<b>2,741</b>	<b>3,530</b>
			少数株主持分	101,622	104,627
			<b>純資産合計</b>	<b>2,103,295</b>	<b>2,117,201</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>3,511,564</b>	<b>3,607,697</b>

## ■ 連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計
<b>売上高</b>	<b>1,733,129</b>	<b>1,409,146</b>
売上原価	1,460,879	1,247,565
<b>売上総利益</b>	<b>272,250</b>	<b>161,581</b>
販売費及び一般管理費	135,980	129,722
<b>営業利益</b>	<b>136,270</b>	<b>31,859</b>
<b>営業外収益</b>	<b>19,503</b>	<b>15,067</b>
受取利息配当金	7,904	8,815
その他	11,599	6,252
<b>営業外費用</b>	<b>6,529</b>	<b>7,579</b>
支払利息	3,209	3,052
その他	3,320	4,527
<b>経常利益</b>	<b>149,244</b>	<b>39,347</b>
特別利益	547	—
特別損失	12,419	29
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>137,372</b>	<b>39,318</b>
法人税、住民税及び事業税	41,442	15,280
過年度法人税等	6,109	—
法人税等調整額	3,741	△3,150
少数株主利益	8,007	3,905
<b>四半期純利益</b>	<b>78,073</b>	<b>23,283</b>

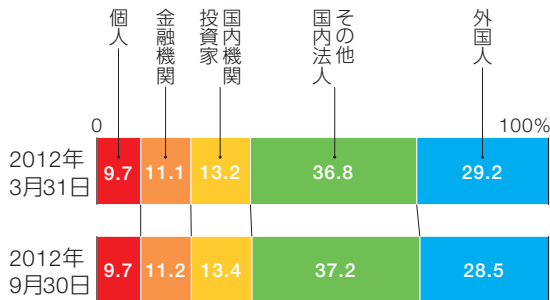
## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	2012年度 第2四半期累計	2011年度 第2四半期累計
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>206,907</b>	<b>8,257</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△186,750</b>	<b>△80,075</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△74,744</b>	<b>159,047</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11,009	△20,299
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>△65,596</b>	<b>66,930</b>
現金及び現金同等物の期首残高	665,409	688,626
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17	—
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>599,830</b>	<b>755,556</b>

# 株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式総数	884,068,713 株
株主数	69,186 名

## 株式保有者別分布状況 (議決権比率、%)



## 会社の概要

### 会社データ (2012年9月30日現在)

社名	株式会社デンソー
本社所在地	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511(案内)
設立年月日	1949年12月16日
資本金	1,874億円
従業員数(連結)	126,036名(就業員ベース) (2012年3月31日現在)

### 役員 (2012年9月30日現在)

#### 取締役

取締役会長	深谷 紘一	専務取締役	白崎 慎二
取締役社長	加藤 宣明	専務取締役	宮木 正彦
取締役副社長	徳田 寛	専務取締役	鹿村 秋男
取締役副社長	小林 耕士	専務取締役	丸山 晴也
取締役副社長	土屋 総二郎	専務取締役	田島 明雄
専務取締役	広中 和雄	専務取締役	安達 美智雄
専務取締役	杉 光	取締役	豊田 章一郎

### 大株主 (上位10名)

大株主名	持株数 (千株)	議決権 比率(%)
トヨタ自動車株式会社	199,254	24.74
株式会社豊田自動織機	69,373	8.61
ロバートボッシュ インベストメント ネーデルランドビービー	46,439	5.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	32,375	4.02
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	31,485	3.91
日本生命保険相互会社	24,050	2.99
デンソー従業員持株制度会	20,101	2.50
三井住友海上火災保険株式会社	15,148	1.88
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	11,126	1.38
ステート ストリートバンク アンド トラストカンパニー	10,249	1.27

注) 当社は自己株式78,137千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

### 監査役

常勤監査役	渡辺 敏男
常勤監査役	岩瀬 正人
監査役	張 富士夫*
監査役	齋藤 勉*
監査役	近藤 敏通* *社外監査役

### 常務役員

西村 繁広	鎌居 健一郎	都築 昇司
Manfredo Nicoletti	臼井 定広	加藤 良文
榎野 孝和	有馬 浩二	村上 正尚
山中 康司	下川 勝久	篠原 幸弘
若林 宏之	豊田 達也	木村 和昌
山田 昇	村上 幸彦	近藤 文一
岩田 悟志	伊奈 博之	鶴田 真徳
伊藤 正彦	桑村 信吾	飯田 康博
阪 好弘	加藤 之啓	伊藤 健一郎
加藤 俊行	藤谷 一明	

## 株式会社 デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地  
TEL.0566-25-5511(案内)  
www.denso.co.jp

## 株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会：6月  
配当金支払い：3月31日  
株主確定日：なお、中間配当を実施する場合は9月30日です。  
単元株式数：100株  
証券コード：6902  
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社  
同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711(通話料無料)

## 株式に関するお手続きについて

### ◎ 住所変更・買取(買増)請求・配当金受取方法の指定等 各種お手続きについて

証券会社に口座をお持ちの株主さまは口座のある証券会社へ、特別口座に口座をお持ちの株主さま(株券電子化移行に伴い、株券を証券保管振替機構に預託していない株主さま)は特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

## 配当金のお受取について

### ◎ 中間配当金のお受取について

第90期中間配当金のお受取期間は2012年12月28日(金)までとなっております。株主配当金領収証記載事項に従い、お早めにお受取りください。

### ◎ 支払期間経過後の配当金について

三菱UFJ信託銀行へお問い合わせください。

<表紙について>

世界最大サイズ12.3インチ高精細ワイドディスプレイの  
オープニングアニメーションをモチーフにしています。  
詳細は4ページをご覧ください。



この冊子は環境にやさしい植物インクを  
使用しています